

（注世さき）き所長 園児67人は26日、田検中学校体育館でクリスマス発表会を開いた。5、6歳児の年長・きりん組21人は、村の伝統舞踊に挑戦。大人たちが用意した餅や浴衣の衣装に身を包み、男児が「須古鎌踊り」、女児が「稲す



り踊り」を披露。保護者らからはビデオカメラを回しながら拍手を送った。新型コロナウイルスの影響で、屋外活動や地域との交流が制限される中、宇検村の文化を見直す機会を増やそうと企画された。女児

# 「奄美のお正月体感して」

## 三献ランチはじまる

龍郷町荒波龍美館

龍郷町幾里の「荒波龍美館」荒波のよどり」内の飲食スペース「あらは食堂」は来年1月4日から、奄美の伝統的な儀式「三献」を取り入れたランチメニューを提供する。同館を運営している一般社団法人「モーレ」秋名のメンバーは「移住者や若い子育て世代など、普段は伝統行事になじみのない人も自宅に帰るような気持ちで奄美のお正月を体感してほしい」とアピールした。予約制。



三献は奄美の伝統儀式で、年始祝いや結婚式などで用いられる。一般的に餅吸い物、刺し身、肉吸い物の三つの膳が順番にあり、前後で酒や塩、干物などを供されるが、各地区によって具材や食べ方などは多少異なる。



取り入れた

あらは食堂では吸い物と刺し身に加え、ツバシヤの（ワフキ）やコシヤマン（山芋）、島アザミなど地元のお食材を使った大みそかこの

が挑戦した「稲すり踊り」は昔集落に伝わる村指定無形文化財。毎年、昔集落の豊年祭で婦人団が奉納しちそう（フンフネヤッセ豚の骨付き肉と野菜の煮物）などを合わせる。期間は1月4日から10日まで。完全予約制で、食材がなくなり次第終了。値段は1人分1800円（税込）。

【ロンドン時事】英有力シンクタンクの「経済経営28年に世界」日本は4位転落英調査

研究センター（CEBR）は26日に公表した世界経済の年次報告書で、中国の経済規模が2028年に米国を抜き世界一になるとの見通しを示した。昨年時点の予測から5年前倒しした。一方、日本は30年にインドに抜かれ、現在の3位から4位に転落するとい

わかつて世界一を維持してきた米国を抜くことになれば、象徴的な出来事となりそうだ。CEBRは報告書で「中国が新型コロナウイルスの流行を巧みに抑え込んだ一方、西側諸国は長期的成長力に打撃を受けた。この結果、中国の相対的な地位が向上した」と指摘し

ている。男児が挑戦した須古鎌踊りは100年以上前から須古集落に伝わる踊りだが、踊り手不足で一度途絶えた。現在は保存会が復活させ取り組んでいる。男児らは鎌を抱えたり、振り回したりしながら「サア、サア、サア」と勇ましい掛け声を上げながら踊った。女児はウシヨキと呼ばれる農作業着に身を包み、くわで田んぼを耕すしぐさや、ざるをふって精米する様子などを見事に演じた。

会場で孫たちの演舞を見守った宇検集落の会社員男性。T HOLDINGS社（立石聡明代表取締役社長）はこのほど、アフターコロナ（新型コロナウイルスに対する治療法などの対策がある程度確立された状態）の観光客誘致に備え、英語と日本語で同町請島の魅力を伝える「請島ブランドフィルム」映像を製作し、インターネットやSNS（会員制交流サイト）による配信を始めた。

# 請島PR映像を製作、配信

## 英語と日本語で魅力伝える

TARGET（瀬戸内町）



Episode1 請島ブランドフィルム「まなざし」(仮題) 同社は2018年11月に瀬戸内町と地域活性化連携包括協定を締結し、19年9月には同町に本社を移転。観光素材の発掘や商品開発などに取り組んでいる。今回の映像製作は請島を含む奄美大島周辺離島の認知度・好感度の向上、アフターコロナの観光客増が狙いで、経済産業省のコンテンツグロバール需要創出促進・基盤整備事業費補助金を活用した。映像はストーリー仕立ての3部作（各話2、3分）構成。第1話は、旅行中にけんかしてしまった外国人カップルが請島へ向かうフェリーで、日本人夫婦と出会うところから始まる。主題歌「結の心」は、奄美瀬戸内町観光大使の歌手ORICAさんが歌った。第1話は既に視聴可能で、第2話は年明け1月上旬、第3話は同月下旬に配信予定。配信URLはhttp://ukeiina.jp/brandfilm/

請島ブランドフィルム映像第一話の一場面（TARGET HOLDINGS提供）